

## 夏に

沖繩県立開邦高等学校二年 神谷 桃子

夏の目映い光に照らされて  
隣の影は 暗闇のように黒く 深い  
萌える緑の奥深くで  
矛盾が静かに 静かに 蠢き出す

せんそうはわるいことだと  
放つこどもの 清純な心の中に  
矛盾が静かに 囁く

すでに幕を上げている悲劇の物語を  
まだ知らないこどもたちは  
今日も目を輝かせ 声高らかに言う  
「平和な生活がこれからも続きますように」

繰り返す あの夏の惨い記憶  
もう二度と戦争を起こすまいと  
誓ったあの希望は すぐ近くで  
かすかな音を立てて 崩れている

夏に

この島の静寂を破り  
凄烈に戦ぐ戦火が到来  
五感を悉く奪いながら  
夏の美しさの裏に潜む  
涙 叫喚 憎しみ 恨みを炙り出す

銃声や喚き声やサイレンを轟かせ  
海を黒く 大地を赤く 空を灰色にして  
万歳と送られた若き命は  
慟哭の風に乗る 花のように散っていく

愛する者の手は永遠に離れ  
絶望の淵に立つ親子の声は  
ただ 空しく灰燼に帰す

夏に

夏に 私は目を瞑る 正午  
空 海 風 木々の沈黙に包まれて  
体が茹だるような 蒸し暑さの中  
ひんやりとしたやさしさを秘めた  
先人たちの声に 耳を研ぎ澄ませる

夏に

夏に祈るは 止め処なきこの世の平和

静かな夜の綺羅星が懐古する  
戦争の惨さ 忘れじの記憶を  
今 私があなたに手渡すとき

夏に誓うは 矛盾の中の決意

燃え滾る血よ 涙よ 汗よ  
一歩ずつ 一歩ずつ前へ進む勇気を持って  
平和を奪取しようではないか

希望の光孕む日差しは 夏に  
暗闇照らし 涙で濡れた肌を拭う  
あなたにも どうか その光が届くように

あなたの夏も 明るくあるように  
彼等の決意が南風に乗る  
あなたの元へ届きますように

夏の終わりに  
わたしは種を蒔く  
こどもたちの未来に 愛と希望の種を

赤子の声や 先人の囁きや 琉球の音たちが  
栄養となって  
平和のシンフォニーを空高くひびかせる

夏の終わりに  
わたしは新たな誓いを灯す  
矛盾を乗り越え  
平和を守ると紡いだその手を  
固く 固く握り 進んでゆくこと

夏に

戦争を非とし  
平和を希求する想いがめいっばいに  
花を咲かせ

爆弾や  
銃や  
戦闘機が国を強くするという考えに

他の国を攻撃し  
侵略し  
支配しようという魂胆に  
世界中が白い目を向けるあの日まで

その日まで

わたしは祈りつづける